

# 社会福祉法人 京都光彩の会

# 光彩だより 令和5年6月号



## 【目次】

- 職員対談-生活支援の職員編-
- 新任職員紹介
- 地域交流-高瀬川清掃活動-



## 夏のボーナスキャンペーンのお知らせ

京都市朱雀工房、ワークステーションかれん工房、西山高原工  
作所では、今年も夏のボーナスキャンペーンを実施します！  
新商品もご用意して皆様からのご注文をお待ちしております。

カタログの送付をご希望の方は京都市朱雀工房(075-813-  
0501)までお問い合わせください！(注文〆切7月7日)

新商品！



キテングで作った

- ◆トートバッグ
- ◆サコッシュ
- ◆コースター

この商品の売り上げの一部はウガンダの  
元子ども兵への支援団体へ寄付致します。

## 巻頭言

### 「ケアは心の仕事」

大平健さんは、私と同じ団塊世代です。米国で育ち、東大医学部を出た後、ペルーの貧民街で診療に当たり、帰国後、聖路加国際病院精神科部長を務めた人です。二十八年前、『やさしさの精神病理』という本を著し、大平さんは、当時の若者に、相手へ深く立ち入らず相手からも立ち入らせないようにして、互いに傷つかないよう立ち回る生き方が広がっている、と指摘しました。つまり、自分の深い心とも対話しないのです。苦悩や悲哀をスルーします。親友ができません、恋愛は夢想で終わります。何よりも「子育て・夫婦育て」が続きません。社会学者の宮台真司さんは、二十二年前、「情報化」の社会が進むと、「ナマ身のコミュニケーション」をしないで生きていけるので、人々は「人とモノの区別のない世界」に入り、人を傷つけても平気になると予言し、「ストーリーカー」や「ひきこもり」を生み出す背景を説きました。そして仮想現実世界は拡がり続け、宮台さん自身が奇妙な事件に巻き込まれました。

心が傷つくことは、みんな嫌なことですが、ナマ身の人間関係は、偏見・誤解があり、衝突があり、モヤモヤがあり、悩んで対話し、分かりあえるところ、許すところ、許してもらおうところ、を経て深まります。人間関係は、〈正〉〈反〉〈合〉の乗り越えの連続です。ケアは恵みあうものであり、自分が変わらないケアは、偽物です。私たちのケアの仕事は、つながりを絶たれ、尊厳を奪われた人の痛みを、受けとめる仕事です。そのためには、ナマ身の出逢いを仕掛ける場面や仕組を創っていくとともに、私たち自身が、心のヨロイ(知識、情報処理能力、キャリア、地位など)を脱いで、裸の弱い自分に戻ることが求められます。そんな時間は、「あなたはもう一人の大切な私」という発見の喜びをプレゼントしてくれることでしょうか。

社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史



# 職員対談 ～生活支援に携わる事業所職員編～

## 事業所・自己紹介

▼グループホーム賀陽 藤井

京都光彩の会には「賀陽」・「山ノ内」・「光」の三つのグループホームがあります。それぞれ利用者さんが入居されていて、食事提供や生活の支援、相談支援など総合的に行っている事業です。1999年から運営しています。

ここでの勤務としては四年目になります。以前は別のところで就労継続支援A型事業所の職員をしていました。就労系では、ある程度日々の業務が決まっていますが、グループホームでの支援は日々利用者さんのニーズが変化するので、一日一日が新鮮に感じます。

▼なごやかサロン 表口

居心地の良い居場所の提供を日夜行っています。サロンでの相談、電話相談、派遣相談等をしています。

ここでの仕事は五年目になります。以前は全く違う電話相談の仕事をしていました。支援という言葉は苦手で、支援というより、何かあった時に一緒に考えようという感じです。

▼相談支援事業所こうさい 萩原

こうさいは、当法人の事業所の利用者の方を中心に、サービス利用などの相談対応を行う計画相談支援を担っています。

法人に長くいまして、最初に配属されたのが京都市朱雀工房でした。人事異動で支援センターなごやかに配属となり、平成二十七年から相談支援事業所こうさいの管理者として勤務しています。

▼支援センターなごやか 植田

事業所では市から受託している支援センター業務として、契約に基づかない生活全般の様々な相談や、サービス利用のための計画相談業務を行っています。私はまだ二年目なので計画相談はもうちょっと先になりますが、日々学びながらサービス利用に関する相談やお手伝いもさせていただいたりしています。

また、なごやかの特徴としては、地域移行促進事業の委託を受けていることも挙げられます。私はその中の一つとしてある、精神障害のある方が地域で暮らすための土台作りとして、学生さんや地域の方への普及啓発活動や患者さんとの交流などもピアサポーターさんたちと一緒にを行っています。

## 支援をしてきた中で印象に残っていること

萩原▼利用者のご自宅の片づけを一緒にしたことが印象に残っています。何らかの事情で片づけられない、片付けたくない方が何名かおられて、必要に迫られて片づけることもあります。例えば物を置きたいから片付けたいといった目的をもって片づけた時は、

終わった後に皆で達成感を共有できたことがあります。本人の片づけたいという言葉をそのまま鵜呑みにして支援することをすぐに諦めるのではなく、なぜ片づけたくないのか、本人がどう思っておられるのか理解しようとしたり、タイミングを見て再度働きかけをする事の大切さを学びました。

▼藤井

こういう仕事していると利用者さんと関わることが普通になっていくことがあり、ふとした時に生きづらさのようなものを感じ、失敗したなと思った時のエピソードがあります。入居者の方が一人暮らしに向けて物件探しをしたと仰ったので、職員も一緒に賃貸会社に行ったところ、「紹介できる物件はない」とにもなく断られたことがありました。その時はその方と一緒にショックを受けて帰り、社会ではまだまだ障害などでアパートを探したりしづらい環境にあるのだと実感しました。支援者としてある程度社会の状況を知っておいて、いざ物件探しをしたと思う時に一緒にスムーズに探しやすい環境を整えないといけないなと思いました。

## 今後目指していきたいこと・目指している支援者像など

藤井▼職員体制が厚くなってきて、支援をより良いものに出来たらいいなと思っています。入居者さんが、「職員さん忙しいし」と口にされることも

あり、本当はもっと職員と関わりたいなと思って下さっていることも諦めさせてしまっているのかもしれない。お部屋の掃除や外出など、生活全般の関わりを増やしていきたいなと思っています。

▼植田

利用者さんに寄り添える支援者でありたいと思っています。まずは、お話を聞く事を大事に、より様々なニーズにもこたえられるように経験を積んでいきたいと思っています。

萩原▼支援場面においてどのような些細な事でも相手との約束を守ることが大切になっていきます。できない約束や曖昧な返事はせずに、具体的に期日と役割を伝え実行するように心がけています。また、利用者の方の変化をくみ取れる支援者でありたいと思っています。常に変化していると思うので、利用者の方の些細な事でも把握して、必要な時に必要な支援が行える支援者でありたいです。

表口▼今を一生懸命自分なりに、自分のペースでやっていきたいです。利用者さんの、言葉ではなかなか表せない部分もよく見てくみ取っていきけるよう関わっていききたいです。

職員の皆様、ご協力  
いただきありがとうございました！

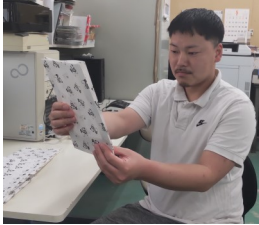




# 新任職員紹介

2022年7月以降に入職した、京都光彩の会の新しい職員を紹介します！

## H. Tさん



西山高原工作所  
職業指導員

2022年7月に入職致しました。大学では福祉とは関係のない学問を学んでおり、様々な職種を経て福祉業界で働いております。以前は別法人のグループホームで4年間勤務の経験があります。就労継続支援B型と生活支援はそれぞれ求められる支援は異なると思いますが、「利用者が主体であること」は共通していますので「自ら考えて」行動出来るように支援したいと思います。よろしくお願いします。

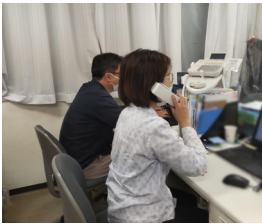
## M. Mさん



グループホーム賀陽・山ノ内・光  
生活支援員

初めまして。2022年9月に入職しました。温かく迎え入れていただき、支えていただきながら、あっという間に新年度になりました。私は至らない点がたくさんありますが、少しでも多くみなさんと充実した時間をともにできればと思っています。よろしくお願いします。

## O. Kさん



生活支援センターなごやか  
相談員

初めまして。このたび、自分が16年前に福祉の仕事に携わりたいと考え学び直しをした原点でもある、精神保健福祉の領域にご縁をいただくことができました。ご本人の気持ちの揺れや葛藤に共に沿い、働きかけをあきらめず、少しずつご本人が望む生活の実現に向かえたらと思います。

## S. Hさん



ワークステーションかれん工房  
職業指導員

初めまして。昨年度朱雀工房へ実習にいかせていただき、4月からかれん工房に入職させていただきました。まだまだ慣れないことも多く、日々勉強させていただいています。居心地のいい環境をつくれるような支援ができるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

## H. Kさん



京都市朱雀工房  
生活支援員

初めまして。以前は別の法人で、就労継続支援B型の事業所で働いていました。この度、ご縁があって京都市朱雀工房に採用していただきました。前職の経験を活かして、障がいや病気のある方々の就労支援に邁進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## ご支援のお礼とご報告

京都府共同募金会様の共同募金助成事業にて、MKホールディングス株式会社様より助成金をご支援いただきました。戴いた寄付金からGH賀陽、山ノ内、光に掃除機と温水便座、GH光に冷蔵庫を購入させていただきました、入居者の皆さんも日々快適に過ごされています。大切に使用させていただきます。ありがとうございました！



5月には、法人事務所とGH光にもご来訪いただきました(〇〇)

## 地域交流

### ミレニアムライオンズクラブ 高瀬川清掃活動報告

2023年3月19日 晴天の下、京都ミレニアムライオンズクラブの高瀬川周辺での清掃作業に参加させて頂きました(法人全体で28名参加)。京都市保健福祉局から提供頂いたごみ回収ばさみと袋で、タバコの吸い殻、マスク、空き缶、弁当殻など、路地裏まで散乱するゴミを、木屋町通を四条通から御池通まで丁寧に拾い集めました。作業後、ライオンズクラブの方からクッキーとパウンドケーキを提供頂き温かい気持ちで帰路に着きました。ありがとうございました。



## 後援会のお礼とご報告

京都光彩の会では、『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に、各事業の運営や計画実施を行っていきたく思います。

趣旨にご賛同いただき、後援会にご加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、今年度も事業運営に邁進して参りたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も随時承っておりますので、なにとぞ協力のほどよろしくお願いいたします。

### ●今回ご加入いただいた皆様●

- ・吉岡由喜子様
- ・飯田由美子様
- ・出口様
- ・河越様
- ・今井様
- ・森本様
- ・藤井様

## 利用者大募集!!

### 就労 移行支援 就労 継続支援B型

京都市朱雀工房、西山高原工作所、ワークステーションかれん工房では上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

### 広報委員会 委員

- 田中 稔一 (支援センター「なごやか」)
- 植田 真由 (支援センター「なごやか」)
- 高橋 恒明 (京都市朱雀工房)
- 佐々木 瞳 (ワークステーションかれん工房)
- 兵井 貴人 (西山高原工作所)
- 都竹 桃子 (グループホーム 賀陽・山ノ内・光)
- 松岡 芽以 (グループホーム 賀陽・山ノ内・光)

## 編集後記

五月には真夏日もありましたが、梅雨に入り雨が降り続く日も増えてきている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。梅雨といえばアシサイですが、身近にどこにあるかと思いつくすとなかなか出てこないものです。かと思えば意識したとたんにたくさん目に入ったりもして、なんだかほっこりした気分になります。そういった日常の“ほっこり”を大事にしていきたいです。ぜひ皆さんも探してみてくださいね。

先輩方の背中に追いつきたいと思えました。また、社会とのギャップのエピソードもお聞きするなかで、たくさんのお話も必要であることも思い起こし、自分に出ることも考えていきたい、増やしていきたいと思いい、個人的にも大変勉強になる機会でした。対談にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

さらに、昨年の七月以降に入職した新しい五名の職員の紹介もさせて頂いておいて、今回の光彩だよりは法人の魅力の中でも“人”の部分をお伝え出来たかなと思います。今後も法人の色んな魅力を発信していきたいと思いたすので次号もよろしくお願いたします。(植田)

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



## 社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター 1 F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520  
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより  
発行: 京都光彩の会 広報委員会  
発行責任者: 中條 了  
印刷: 西山高原工作所